

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道2号西 ^{にしひろしま} 広島バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局														
起終点	自：広島県広島市中区平野町 至：広島県廿日市市地御前	延長	19.4 km																
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の主要都市を經由し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p>西広島バイパスは、広島西部方面から広島市中心部へ流入する交通を円滑に分散・導入させ、慢性的な交通渋滞の緩和を図り、広島市の都市機能を強化するとともに広域的な地域連携強化による周辺都市との一体的な発展に資することを目的として計画された延長19.4kmのバイパスである。</p>																		
S40年度事業化	S45年度都市計画決定 (H6・9年度変更)	S42年度用地着手	S42年度工事着手																
全体事業費	約1,022億円	事業進捗率	67%	供用済延長	17.1km														
計画交通量	17,700~92,000台/日																		
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C: (事業全体)</td> <td style="width: 20%;">7.8</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	B/C: (事業全体)	7.8	(残事業)	1.5	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td>241/3,704億円</td> <td>369/28,989億円</td> </tr> <tr> <td>（事業費：235/3,414億円）</td> <td>（走行時間短縮便益：223/24,482億円）</td> </tr> <tr> <td>（維持管理費：6.5/289億円）</td> <td>（走行経費減少便益：93/3,147億円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（交通事故減少便益：53/1,360億円）</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	241/3,704億円	369/28,989億円	（事業費：235/3,414億円）	（走行時間短縮便益：223/24,482億円）	（維持管理費：6.5/289億円）	（走行経費減少便益：93/3,147億円）		（交通事故減少便益：53/1,360億円）	基準年	平成26年	
B/C: (事業全体)	7.8																		
(残事業)	1.5																		
総費用	(残事業)/(事業全体)																		
241/3,704億円	369/28,989億円																		
（事業費：235/3,414億円）	（走行時間短縮便益：223/24,482億円）																		
（維持管理費：6.5/289億円）	（走行経費減少便益：93/3,147億円）																		
	（交通事故減少便益：53/1,360億円）																		
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=7.5~8.2(交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=1.4~1.6(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=7.8~7.9(事業費±10%) 事業費：B/C=1.4~1.7(事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=7.8~7.8(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.4~1.7(事業期間±20%)</p>																		
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる ・現道における混雑時旅行速度が改善 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する 【広島バスセンター～四季が丘団地（12往復/日）ほか17路線】 ・廿日市市から広島駅（新幹線駅）へのアクセスが向上 <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【廿日市市～広島市】 <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮島（H25年間観光入込客数497万人）、平和記念公園（同137万人 ※平和記念資料館の来客者数）へのアクセスが向上 <p>④安全で安心できる暮らしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次医療施設へのアクセスが向上 【広島市西区、佐伯区～広島市民病院、広島大学病院、広島県立病院】 ・死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる。 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成25年6月）において緊急輸送道路に位置づけ有り <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる 																		

